

## MAGBASE 10 2.0 | P/N 88001856

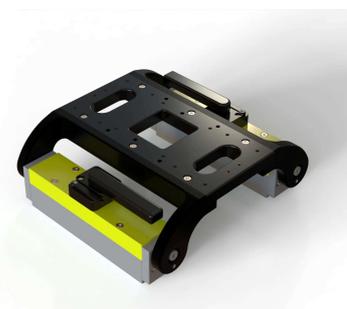
平面への固定はもちろん、ピボット機構により円筒形の鉄磁性体表面への取り付けも可能です。広い設置面積により、エンドエフェクタが最大半径に達した際の剥離リスクを低減します。標準マウンティングプレートは、ファナックCRX-10、CRX-20、及びユニバーサルロボットUR10、UR16のへの取り付けに対応しています。協働ロボットのサイズに関しては、当社にご相談ください。

### 警告！

ワークと接触していない状態での操作は行わないでください

### 仕様

最大保持力 <sup>1,2,4</sup>	22072 N
最大せん断保持力 <sup>1,2,4</sup>	4846 N
磁場飽和板厚	12.7 mm
全体面積	143mmx376mmx396mm
重量	30 kg
個別磁力部底面積	71.1x296 mm



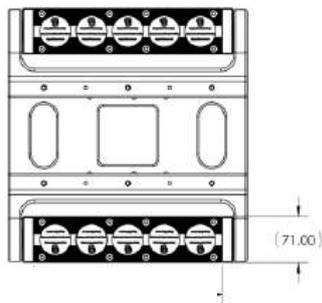
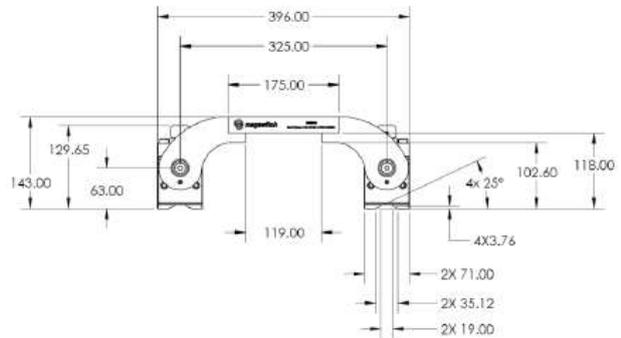
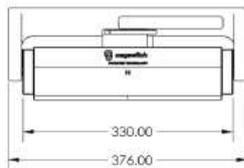
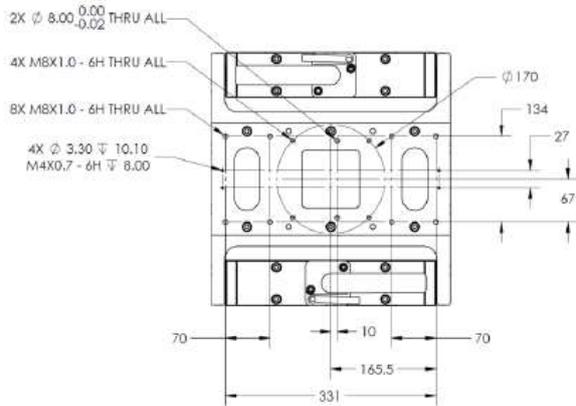
以下は、スイベル（首振り）式マグネットアレイ1基における最大引き離し力のデータです。Magbase 10 2.0 には各ユニットにこのアレイが2基搭載されています。詳細は取扱説明書をご参照ください。

材料の厚さ mm	1.5	1.9	2.7	3	3.5	4.76	6.35	9.53	12.7	19
最大力 N	1585	2109	3503	3648	4058	5591	8626	10241	10712	11036

- 1 厚さ2インチ、表面粗度63μインチのSAE1018鋼と最適なポールシューを使用して、実験室環境にて得られた値です。実際の最大保持力と安全使用荷重には様々な要因が影響します。配置する前に、愛知産業にお問い合わせください。それぞれの用途でマグスイッチの製品をテストしてください。
- 2 すべてのデータはフラットポールシューを装着したユニットに適用されます。
- 3 数値は±5の範囲内で変動することがあります。
- 4 上記の最大保持力は安全保持力ではありません。設計者はツールを設計する際に、必ず安全係数を考慮してください。マグスイッチ社はSWL=10:1を推奨しています。

$$SWL (\text{安全使用荷重}) = \frac{\text{最大保持力}}{\text{安全係数} (\geq 10)}$$

**標準寸法**



主に磁力が発生する面 (黒)  
二次磁力発生面 (灰色)

**重心位置**

